



ゼロカーボンシティえな宣言

本市は、豊かな森林に恵まれ、多くの河川が流れるなど、自然の恵みを受けながら、今日の恵那市の姿が形づくられてきました。そして、先人の地元の自然に順応した暮らしによって、現在の環境が私たちに受け継がれています。

豊かな自然を育んでいる恵那市においても、地球温暖化は大きな課題であり、最も重要な環境問題の一つです。パリ協定では、平均気温上昇を 1.5°C に抑える必要があるとされ、これを達成するためには、2050 年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

今、未来を担う子どもたちに、この素晴らしい恵那市を引き継いでいくためにも、本市は、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティえな」を目指し、脱炭素社会の実現に向けて全力で取り組んでいくことを、本日ここに宣言します。

令和4年3月23日

恵那市長 小坂 喬峰